

理事長ご挨拶

松本 秀男

昨年11月の理事会で理事長を拝命致しました。高岸憲二先生の後任なので、ちょっと荷が重いのですが、「スポーツ医学」には私なりの思い入れもありますので、しっかりと責務を果たしたいと思います。

さて、高岸先生が理事長になられた4年前は日本整形外科スポーツ医学会（JOSSM）にとって、大変な時期だったと思います。いろいろな意味で過渡期でした。学会の法人化に伴う様々な体制の変革、専門医制度改革に対する対応等、スポーツ医学会そのものの意義が問われる部分が多々ありました。更に日本整形外科学会（JOA）との関係、日本臨床スポーツ医学会やJOSKASなどの関連学会との相互関係等を含め、JOSSMとしての立ち位置が難しい状態でした。学会の会員数も、それまで伸び悩んでおり、どの様に学会を活性化すべきかについて、いろいろと議論がなされていました。これらの諸問題に対して高岸先生を中心とした前執行部が様々な面から対応され、現在では会員数も順調に増加し、2000名を超えるほどになりました。

さて、ここまでにして頂いたJOSSMを引き継ぎました。JOSSMを更に発展すべく、現状を考えて、今後の行動目標を次の3つに決めました。

1：関連学会との関係強化

スポーツ医学関連の学会として、日本臨床スポーツ医学会、JOSKAS、日本体力医学会、等があります。これまで、それぞれの学会がどのような役割を演じるべきかについて、はっきりしていませんでした。また、それぞれの学会同士の協力関係も微妙でした。そこで、まず、JOSSMとしての役割をはっきりさせる必要があります。JOSSMは、やはりスポーツ医学と整形外科の両方の要素を兼ね備えた学会であるべきだと思います。この点で、すべての診療科を横断的に包括する日本臨床スポーツ医学会とは異なると考えます。もちろん周辺領域は存在しますが、あくまでも中心となるのは運動器の外傷や疾

患の予防と治療でしょう。競技スポーツもあるでしょう、健康スポーツもあると思います。もちろんスポーツの継続や復帰、更にはパフォーマンスを常に念頭に置いておくことは必要です。そしてこの立ち位置をはっきりさせた上で、他の関連学会との協力関係を築いていくことが大切でしょう。幸いにも日本臨床スポーツ医学会やJOSKASのメンバーとは、心を開いて相談できるので、それぞれの学会とwin-winの関係を構築できるように努めたいと思います。そして、何と言っても重要なのがJOAとの関係です。我々も「整形外科スポーツ医学会」である以上、JOAとの協力は欠かせませんし、JOAもスポーツ専門医制度の今後の問題等があり、「スポーツ」は重要な項目の一つです。是非、JOAとの相互関係も強化したいと思います。こちらも幸い、現在JOAのスポーツ委員会は担当理事が高岸先生で、委員長が帖佐先生です。JOSSMのことを愛してくださっている先生方ですので、いろいろと相談してみようと思っています。

2：国際学会との連携強化

これまで別府先生、菅谷先生を中心にAOSSMやKOSSMとの良好な相互関係を築いて頂きました。AOSSMにはtraveling fellowを派遣する道を作って頂きましたし、KOSSMとは隔年であったcombined meetingを毎年出来るように手配して頂きました。今後の目標はAOSSMとは相互関係を更に強化し、双方向の協力関係を築くこと、KOSSMとはシンポジストの相互派遣等、これまで以上に密な交流を目指すことです。更に、これまでtraveling fellowの交換が主な事業であったGOTSとも、学会同士の協力体制を強化したいと思います。今年のGOTSに学会出席し講演をすることになっていますので、その際にGOTSのメンバーと詳細を詰めたと思います。AOSSMのofficial journalであるOJSMやGOTSのofficial journalであるSOT journalからも様々なofferが来ています。JOSSMの論

文の内、優秀なものについては、学会から援助を行って、これらの英文誌に投稿出来る仕組みを作りたいと思います。

3: スポーツ医学教育システムの構築

現在、専門医認定機構によって、新しい専門医制度が出来つつあります。どの診療科も現状は手探りの段階です。今後、スポーツ医学もこの専門医制度と様々な関わりが生じますが、その際にあわてない様に「スポーツ医」の教育制度が必要だと感じます。現状では個々の大学や診療施設では「スポーツ医学」全体を通して教育することは難しそうです。更に、「スポーツ医学」は大学や診療施設だけではなくスポーツ現場での教育も必要です。これを可能にするのはやはり様々な領域を専門とする

「スポーツ医」が集まる JOSSM だと思います。今後、専門医制度への対応を含めて、確かな知識と技術をもった「スポーツ専門医」の育成が出来る様に、学会としての体制を整えたいと考えます。この体制整備は教育研修委員会（加藤公担当理事）にお願い致しました。まず、それぞれの施設や現場でスポーツ医学教育をどの様にやっているか、何が出来るかを調査し、全国規模での「スポーツ医学教育」の体制を作りたいと思います。

以上、ちょっと大風呂敷を広げてしまいましたが、これから JOSSM の更なる発展を目指して活動して行きたいと考えておりますので、今後ともいっそうのご協力よろしくお願い致します。